

第4回 瀬戸内まなび塾 開催の様子

1 開催について

(1) 開催日時 平成27年9月11日(金) 18:30~20:30

(2) 開催日程

- ① 参加者による模擬授業、グループ協議
- ② 講師による指導・助言

講師 市教委担当指導主事(松田・浦上・屋敷)

瀬戸内市立邑久中学校 授業改革推進員 渡邊 裕 指導教諭

(3) 参加者 市内小・中学校に勤務する先生方 14名参加

2 活動の様子(写真)と参加者の感想



模擬授業の導入の場面。本時の模擬授業は中学校第1学年の外国語の内容。

授業者の先生のお人柄が表れていて、楽しい授業でした。評価に繋がる、めあての設定の仕方について参考になりました。

グループで話し合うことで、色々な考え方に触れることができ、その中で新しい発見があって良かったです。

【授業者の感想】

自分が授業で何を伝えたいのか、そのためにはどうすればいいのかを考えられる時間でした。同じ困難をもたれている先生もいて、ほっとしたところもあり、これからも頑張ろうと思いました。



授業者以外の先生方は生徒役に。授業者の指示でペア学習をする場面。



導入で生徒の心をつかみ、本時のめあてを板書して確認する場面。

今回の研修は、自分の授業でもっとこうしたらいいのかなと考える機会だったと思います。めあては欲張らないように、どういった授業終わりの生徒の様子を想像して書いたり、しっかりと生徒一人ひとりのつぶやきを拾ったりし、またそれを繋げられるようになりたいと思いました。また、今は何を子どもにさせたいのか、はっきりと指示することが大切だと思いました。

考える視点が示されていて、話しやすかったです。めあてとまとめや、板書について、子どもへの働きかけなど具体的に協議でき、大変勉強になりました。自分の実践に繋がる内容で、ありがたかったです。



授業者が模擬授業の中で机間指導をしている場面。



模擬授業を終え、授業内容についてグループごとに協議をしている場面。

板書の統一はとても参考になりました。めあての書き方も、具体的かつ簡潔に示せるように工夫していきたいです。

また、最後に講師の先生方から指導・助言をいただきましたが、もっと講師の先生方の意見が聞いてみたかったです。

今日は、模擬授業を参考にめあての設定の仕方やノートの工夫など、様々なことを学ばせていただきました。なかでも、生徒のつぶやきを大事にして、しっかりと拾っていくということは、意識していても難しい部分ではありますが、授業をより生徒に有用なものとするためには大事だと実感しました。本当にありがとうございました。



模擬授業やグループ協議について、講師が指導・助言を行う場面。